

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019-2023（愛称：京からはばたく、学びプラン）」に基づく令和2年度の主な取組

1 京都ミュージアムPBL科目

【柱1 (1)－①京都ならではのフィールドにおける新たな単位互換科目の開設(P15)】

① 事業概要

京都市と（公財）大学コンソーシアム京都の共同実施による、京都ならではのフィールドにおける新たなアクティブラーニングによる単位互換科目として、令和2年度より新規開設。文化都市京都の利点を活かし、京都に集める多様な博物館（ミュージアム）をフィールドに京都の持つ魅力的な文化を学びながら、そこにある様々な課題に取り組むことでチームワークを活かし、課題解決に向けたリーダーシップを発揮できる人材を育てる。

② 令和2年度取組内容

4大学4施設による4科目を開講する。

受講者確保に向け積極的に広報活動を行うとともに、着実に事業を推進し、継続的、安定的に運営すべく大学及び文化施設、相互の積極的なサポートを実施する。

（参考）令和2年度京都ミュージアムPBL科目一覧

提携先文化施設	科目開設大学	科目名
京都市京セラ美術館	大谷大学	フィールドワーク特殊演習（PBL）
京都国際マンガミュージアム	京都精華大学	コラボレーション概論A（京都ミュージアム企画デザイン演習）
京都市動物園	同志社大学	ミュージアム PBL 科目：動物園の魅力探求と環境教育イベント
京都鉄道博物館	立命館大学	特殊講義（総合）（BA）/京都鉄道博物館に地元京都からの来館者を増やすにはどうしたらよいか、調査して提案しよう。

2 日曜講座開設による京都全体の教職課程の充実

【柱1 (1)－④大学間連携の取組を活用した、教員免許等資格取得に必要な科目の履修支援(P15)】

① 事業概要

京都教育大学と連携し、キャンパスプラザ京都において、社会人を含めた学生が受講しやすい時間帯（日曜）における教員免許の資格取得に必要な単位互換科目を開設する。

② 令和2年度取組内容

教職課程の日曜講座として、4科目（教職論、教育心理学等）を開設する。

3 学生向けアプリの開発・活用

【柱1 (2)－④学生が安心・安全に学ぶための相談体制等の充実(P16)】

【柱6 (3)－③大学・学生向け広報の充実(P32) など】

① 事業概要

京都でしか味わえない学生生活を実現するための各種取組を、学生に直接かつ確実に届ける「大学のまち京都・学生のまち京都」アプリ（令和元年度末開発予定）を活用し、「京都学生広報部」や「輝く学生応援プロジェクト」、「京都学生祭典」等の取組に学生を引き込み、学生の主体的活動を促進し、京都のまちの活性化につなげる。

② 令和2年度取組内容

より多くの学生にアプリを利用してもらうため、PRに引き続き取り組むとともに、情報配信やコンテンツの充実を図る。

4 日本語運用力向上講座

【柱2 (2)－⑤留学生を対象とした日本語教育の支援(P19)】

① 事業概要

大学での日本語学習支援が十分でない、あるいは、交流を通じて日本語力を高めたい留学生を対象に、実戦での日本語運用力の向上を目指す講座を開設する。

② 令和2年度取組内容

日本語運用力向上につながる日本語学習会を行う講座を検討・実施する。

（講座例）

- ・ ビジネスに活用できる日本語と企業人によるセミナー
- ・ 文化に関する日本語と文化体験

5 「京（みやこ）グローバル大学」促進事業

【柱2 (4)－①日本人学生の海外留学促進に資する学びの充実(P20)】

① 事業概要

留学生誘致をはじめ、交換留学にもつながる市内大学と海外大学との連携など、大学及び学生の国際化に向けた取組を点ではなく面として支援を広げていくことを目的に、留学生増につながる取組を行う大学を支援する。

② 令和2年度取組内容

新たに積極的に国際化に取り組む大学を中心に採択し（令和2年度から最大4箇年の支援を想定）、大学や関係機関等と連携の上、効果的に大学・学生の国際化を推進する。

6 学生 Place+（輝く学生応援プロジェクト）

【柱3 (1)－②学生 Place+（ぶらす）の更なる活用促進(P22)】

① 事業概要

キャンパスプラザ京都1階の学生 Place+を拠点に、学生が大学の枠を超えて行う、京都のまちの活性化につながる活動に対して、活動場所の提供や専門コーディネーターによる助言・指導等を通じた支援を実施する。

② 令和2年度取組内容

交流スペースの利用について学生であれば誰でも使用可能とするなど、より多くの学生の利用を促すため、利用要件を緩和する。

7 次世代産業×大学発ベンチャー 社会課題解決のための技術開発プロジェクト

【柱5 (2)－③大学との共同研究の推進による新事業創出支援(P28)】

① 事業概要

京都市の行政課題につながる研究を行う研究者に対し、研究開発への助成、実証実験のフィールドの提供、技術開発へのフィードバック等の支援を行い、製品・サービス等の開発につなげる。

さらにこうした研究開発の成果を金融機関、ベンチャーキャピタル等の投資家に対して発表する場を提供し、大学発ベンチャーの起業を後押しし、次世代産業の振興を図る。

② 令和2年度取組内容

行政課題（例：農林業の担い手不足解消につながるスマート技術の実装など）を選定したうえで、課題解決のための研究開発を公募し、選定された研究者へ支援（助成金や実証実験フィールドの提供等）を行う。

8 「学まち連携大学」促進事業

【柱5－(4)－①大学と地域の連携強化(P29)】

① 事業概要

大学等の教育・研究成果の蓄積や学生の活力を地域の課題解決や活性化につなげるとともに、地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出する取組を、大学等の組織的な取組として定着させ、更に充実・発展させることを目的に、京都市内で地域と連携した活動を通じて学生が学ぶ実践的な教育プログラムの開発・実施又は充実・発展に取り組む大学等を支援する。

② 令和2年度取組内容

地域連携に係る新たな取組を進める大学を公募のうえ選定し後押しする（令和2年度から最大4箇年の支援を想定）ことで、地域連携に全学的に取り組む大学の裾野の拡大を図る。